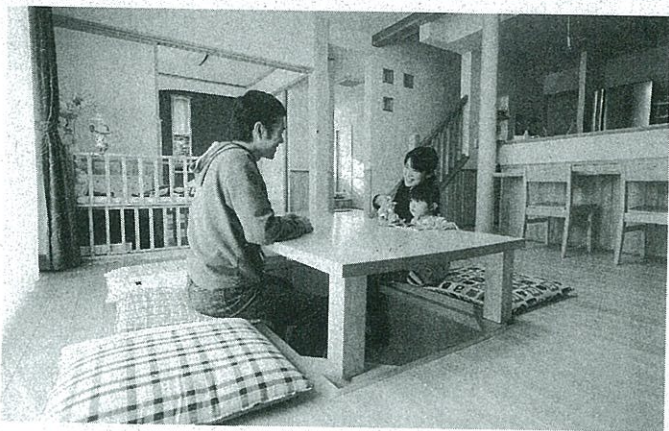


洋室居間に「掘り座卓」



座卓の床下にスペースを空ける「掘り座卓」を、洋室のリビングなどに設置するケースが増えている。脚を下ろした楽な姿勢で、床に座る生活を楽しめる点が見直されているようだ。ただ、一度設置すると場所を変えられないこと、向きは慎重に決めたい。



リビングの中央に置かれた掘り座卓。足元が広々として、楽な姿勢で座ることができる(茨城県ひたちなか市で)

今年1月に新築した茨城県ひたちなか市の男性(32)宅。木造2階建ての1階リビングには、板張りの床の中央部に縦90センチ、横180センチの大きな座卓が置かれている。その下の床には、脚を下ろせる大きなスペースが空けられている。家族4人が座布団を敷き、だんらんの時を過ごしていた。

男性は当初、リビングに食事用のテーブルを置き、だんらんの場所としても使おうと考えていた。ところが、住宅会社との打ち合わせの段階で掘り座卓を

で、掘りごたつにすることも多かった。ところが最近、男性宅のように、フロアリングの洋室に設置するケースが増えている。フロアリングとの組み合わせは飲食店などでよく採用されている。心地よさが見直され、住まいにも取り入れられ始めたようだ。

男性宅を施工した住宅会社「棟匠」(水戸市)広報企画課長、生駒祐一郎さんは「特に30〜40歳代に、玄関の装飾に丸障子を設けるなど、住まいに和風の要素を取り入れる人は多い。

脚伸ばせ楽位置・向き注意

提案され、魅力を感じた。テーブルと違ってすく横になつてくつろげ、木のぬくもりも感じられる。脚を下ろせるから通常の座卓と比べても楽に過ごせる。「リラックスできるので、家族が自然に集まってきます」と話す。

掘り座卓も選択肢の一つです」と話す。

掘り座卓は、これまで畳敷きの和室に設けるのが一般的

掘り座卓は、これまで畳敷きの和室に設けるのが一般的

パナソニック電工(大阪府門真市)は、座卓と箱状の床下部分セットにした「掘り座卓あつた力」を販売。洋室に設置するケースが約半数あるという。床下部分にはヒーターが付き、冬は掘りごたつになる。座卓を床下に収納し、板で覆うこともできるが、「年間を通して掘り座卓として使う例がほとんど」と同社。大建工業(大阪市)は洋室にも合うデザイン掘り

掘り座卓を設置する際のポイント

- 置く位置や向きは、テレビや庭など何を見やすくしたいか考えながら決める
- 通常のテーブルよりも低いため、天井の照明から遠くなる。手元が暗くなる場合は、ペンダントライトを使うなど照明を工夫する
- 目線も低くなるため、窓の位置が高いと、外が見づらく圧迫感が出てしまうことも
- インテリアの高さや、花瓶などの飾り物の位置にも気を使いたい

(小林さんの話などをもとに作成)

座卓セットを12種類用意する。新築だけでなく、家を改築する際に掘り座卓を設置する例も

ある。リフォーム会社「エコーフォーム」(東京)では、「もともと、ちゃぶ台で食事とだんらんをしていた家族が『脚が楽な掘り座卓にしたい』と依頼してくることもあるという。ただ、設置する時には、注意したいこともある。別表。一般財団法人「住まいづくりナビセンター」(同)で中立な立場から住宅づくりをアドバイスしている小林輝子さんは、「テーブルと違って移動できないため、位置や向きはよく考えて決める必要がある。座っていると楽だが、立ち上がったたり座り込んだりする動作は、足腰の弱い人には大変だということも知っておいてほしい」とアドバイスする。

こどもの詩

はなだつたら

水谷 佳美

もしわたしがはなだつたら
つちにあしをつつこんで
まいにちたつている
つかれたときは みずをもうう
げんきなときは さいている
いつかはかれて
たねがでる(でないものもある)
そしてまた たねからさいてを
くりかえす

(大阪市・大阪教育大付属平野小1年)

人間だったら、どうだろう? 地に足つけて立ち、疲れたら水を飲み、笑って生きられたら、いいな。(長田 弘)